

未来のための 環境保全型農業にこだわった

磐梯さとやまの慧(めぐ)み

SDGsな新ブランドがスタートします!!

ロゴマーク

磐梯山、水、土、太陽
磐梯町の豊かな自然を
表現したデザイン



※1:Bio Logical Farming
(生態調和型農業理論)の通称

磐梯さとやまの慧みは、

福島県磐梯町による未来のための環境保全型農業に
こだわったSDGsな新ブランドです。

本ブランドの作物は、株式会社ジャパンバイオ
ファームが提唱する科学的・理論的な栽培技術であ
る「BLOF理論」※1のもと作られています。
さらに、福島県は環境保全型農業を推進しており、
県からの協力を得ています。

商品開発には生産や流通、食育、地産地消など幅
広い知見を持つ関係者が携わり、磐梯町の魅力を活
かしたブランドに育てていきます。

2021年の夏よりトマト、米、リンゴ等の販売
を開始して、様々な品目のシリーズ化に取り組んでい
ます。

環境保全型農業ってなに？

環境保全型農業(環境にやさしい農業)と
は、土づくり等を通じて農薬・化学肥料の
使用を低減し、環境負荷を少なくする持続
的な農業のことです。

「磐梯さとやまの慧(めぐ)み」でも、農業生
産の場から環境問題等に対応するため、
農薬の使用を低減し、化学肥料は使用し
ない※といった「環境にやさしい農業」に
とりくみ、地球環境 や地域の農村環境と
生物多様性の保全に貢献しています。

※育苗培土含有分は除く。

磐梯町の魅力

磐梯町は、会津盆地の北東部に位置し、
磐梯山を間近に仰ぎ見る山紫水明の地で
す。

豊かな自然からもたらされる肥沃な大地
と、清らかな水を利用した農業はこの町
の主要産業です。

この豊かな自然を未来へつなげるため
に、磐梯町では2018年より環境保全型農
業の推進をスタートさせました。

さらに詳しく!
裏面もご覧ください。



未来のための 環境保全型農業にこだわった 磐梯さとやまの慧(めぐみ)

栄養価が高く 旨みを感じやすい栽培方法を採用

磐梯さとやまの慧みの作物は、自然界の法則に従った作物生理に基づく科学的理解と、化学的根拠である土壌分析・施肥(せひ)設計に基づく栽培技術である「BLOF (ブロフ) 理論」で作られています。

この技術は、作物本来の力を取り戻す農法のため、えぐみを感じる「硝酸態窒素」が減少し、「抗酸化力」「ビタミンC」「糖度」が高まります。そのため、従来の作物よりも栄養価が高く、作物本来の旨みを感じることが期待できます。

磐梯町のブランド事業で生産された作物は、(一社)日本有機農業普及協会が開催する栄養価コンテストにおいて、2020年にはトマト。2021年にはりんごがそれぞれ「最優秀賞」を受賞しました。



多様なメンバーで 磐梯町の魅力を活かしたブランドへ育てる

生産者と消費者、どちらにも愛着をもってもらえるようなブランドに育てるため、多様なメンバーがブランド事業に携わっています。

具体的には、地元生産者、福島県、農業委員会、JA会津よつばをはじめ、食育にかかわる栄養教諭や地元特産品を取扱う道の駅などが参加。

生産や流通、食育、地産地消など幅広い知見から、磐梯町の魅力を活かしています。2021年春にはついにブランドロゴが決定。磐梯山、水、土、太陽と磐梯町の豊かな自然を表現したデザインとなりました。



今後の展望

磐梯さとやまの慧みの商品は、2021年の夏よりトマト、米、りんご等の販売を開始して、今後も様々な品目のシリーズ化に取り組んでいます。

子ども達に地産地消で安全な作物を食べてもらうために学校給食への積極的な活用や、町外の方に町の魅力を知ってもらうためにふるさと納税の返礼品にもなっています。

今後も、未来のための環境保全型農業にこだわったSDGsな新ブランドとして、様々な取り組みをして参ります。